

## 令和元年度 久留米市文化芸術振興審議会 第1回会議 議事録

### 1 開催日時

令和元年7月30日(火) 14時～15時45分

### 2 会場

久留米市役所本庁舎3階 306会議室

### 3 出席委員(順不同) ※10名

木藤委員(会長)、木村委員(副会長)、井原委員、大倉委員、片山委員、古賀委員、中西委員、  
福田委員、前原委員、矢次委員

### 4 欠席委員 ※1名

上田委員

### 5 事務局 ※11名

市民文化部 竹村文化芸術担当部長、西村次長

文化振興課 土居課長、小野課長補佐、新郷主査、中園主任主事

文化財保護課 水島課長

久留米シティプラザ 大宝課長補佐

公益財団法人久留米文化振興会 井上事務局長、隈課長補佐

久留米市美術館 眞子主幹

### 6 議事次第

#### 1 開会

#### 2 諮問

#### 3 会長、副会長挨拶

#### 4 議題

(1) 久留米市文化芸術振興基本計画(平成27年度～平成31年度)の総括について

(2) 次期久留米市文化芸術振興基本計画策定に当たっての基本方針について

① 策定体制及びスケジュール

② 基本方針

(3) 国の文化芸術政策の動向について

#### 5 その他

#### 6 閉会

## 議事録

### 1 開会

- 事務局より、過半数の委員が出席しており、会議が成立していることを報告。  
各委員を紹介。(上田委員は欠席)  
久留米市出席者及び事務局を紹介。

### 2 諮問

- 竹村久留米市市民文化部文化芸術担当部長より、木藤会長宛て、諮問書を読み上げ、次期基本計画の策定について、審議会に諮問。(諮問書を会長に渡す)

### 3 会長、副会長挨拶

- 竹村部長より挨拶。引き続き、木藤会長及び木村会長より挨拶。

### 4 議題

(1) 久留米市文化芸術振興基本計画(平成27年度～平成31年度)の総括について

- 事務局より資料1～3に基づき、久留米市文化芸術振興基本計画(平成27年度～平成31年度)の総括(案)について説明。

## 質疑

### ○ 片山委員

総括目標となっている活動経験の指標を上げるためには、少しターゲットを変えて、子どもたちのみではなく、広くアウトリーチ事業を実施していくという検討も必要ではないかと思う。

### ● 事務局

- ・ 小学生をメインに芸術家派遣事業を行っているところだが、それとは別に、地域コミュニティセンターなど、そういうところでのアウトリーチも少しずつ実施している状況。このような取組みを進めていくなかで、最終目標の上昇へとつなげていきたい。一方、指標を把握する調査対象としては、子どもたちは入っていないので、把握の仕方等についても、今後研究していきたい。

### ○ 矢次委員

- ・ 意識調査のやり方の問題なのか、文化芸術の定義の問題なのか、それはわからないが、活動へのハードルを下げるという意味で、設問の見え方をもう少し柔軟に考えてもよいのではないか。「あなたがやっていることも文化活動ですよ。」と教えてあげることが、重要なかもしれない。

### ● 事務局

- ・ 芸術活動に当たることをやっているのに、それを認識していないというケースは多々あると思う。どのような工夫ができるのか、これから検討していきたい。

### ○ 木藤会長

- ・ 現基本計画のなかでは、「久留米シティプラザ」と「久留米市美術館」が開館したという点は、大きな変化だったと思う。それに加えて、子どもたちへのアウトリーチとか、人材育成とか、

美術館の高校生以下無料であるとか、そのような新しいかたちで、文化芸術に関するサービスが提供されるようになったという点は大きいと思う。しかし、アンケートモニターは18歳以上であるので、注力している子どもたちの反応というものは、指標に反映されていない。しかしながら、「未来を担う子どもたちが、20代、30代となったときに、文化芸術に親しんでもらえるような取り組みが重要ではないか。」というのが、現基本計画を策定した時の大きなテーマだった。

○ 前原委員

- ・ 事務局から課題として「広報の充実」という説明もあったように、これをどう実施していくかが重要になってくる。最近、街を歩いていると、美術館の看板とか、シティプラザのイベント告知なども、よく目にするようになったが、まだまだ足りない。目に付かない。広報活動にもっと力を入れるとよいのではないかと思う。ただ、その方法は選択枝が広いので、何が一番良いかは、難しい判断になる。

○ 井原委員

- ・ 自分は、この総括の資料を見て、きちんとまとめられていると感じている。久留米シティプラザと久留米市美術館、この2つがやはり核になって、賑わいの創出というか、来る度に変化を感じている。そのような点が、きちんとした文章できれいに評価されていると感心している。県内でも、文化芸術の分野で、久留米市のようにきちんと基本計画を立てて、文化予算もきちんと確保されているところはあまりなく、久留米市は苦勞されていると思う。予算の執行についても、理路整然とまとめられている。感心しながら説明を聞いていた。評価指標については、市民意識調査で行うので、例年同じ設問で、なかなか伸びないというのが課題だと感じている。そこで、活動経験の設問については、少し解説を加えたらどうかと思う。「このような活動も、文化芸術活動になるのですよ。」というような解説を加えると、大きく数字が伸びるのではないかと思う。

(2) 次期久留米市文化芸術振興資本計画策定に当たっての基本方針について

① 策定体制及びスケジュール

- 事務局より資料4に基づき、久留米市文化芸術振興基本計画策定に当たっての体制及びスケジュールについて説明。

質疑 ※特になし

(2) 次期久留米市文化芸術振興資本計画策定に当たっての基本方針について

② 基本方針

- 事務局より資料4に基づき、久留米市文化芸術振興基本計画策定に当たっての基本方針（案）について説明。

## 質疑

### ○ 中西委員

- ・ 地方創生の総合戦略との連携は記載されているが、商工観光労働部が進めている「久留米市観光・MICE 戦略プラン」も、確か今年が練り直しの年だったのではないかと思うので、観光及び中心市街地の活性化につなげるべく、それぞれの計画を、相互に反映していただきたい。できれば、2ページ目に示されている表の中に、観光とか国際交流などを前面に出してもらって、観光コンベンションの計画にも反映できるような、相互的な計画になればと考えている。

### ● 事務局

- ・ いわゆる「久留米とんこつ戦略プラン」のことだと思うが、市で作成する様々な計画について、他部局との連携というところは、よくご意見をいただく点なので、どれだけ反映できるかわからないが、そのような視点も持って、計画策定を進めてまいりたいと考えている。

### ○ 片山委員

- ・ 自分も中西委員と全く同じ意見で、国の文化芸術基本法の改正の趣旨の中で、観光が最も先に来ているという中で、少し話しが戻るが、体制のところ、庁内関係各課等の例示のところに、地方創生の所管部局や、商工観光の所管部局がない。もし、国の法律改正の趣旨を踏まえて、今回新たな計画を策定するというのであれば、ぜひ、そのような部局との調整も進めていただきたいと思う。

### ○ 井原委員

- ・ 金沢とか竹田、横浜とかは、久留米市ほどの地域資源はないが、つなぎ方がうまい。竹田市の市長も「文化でまちおこし」という考えが一貫しているので、滝廉太郎など、歴史を紐解いて、何らかのかたちでつないで、サミットとか、何とかまちづくりにつなげようとする。それに比べて、久留米市は正直というか地味というか、遠慮し過ぎ。豊かな地域資源があるのに勿体ない。世界に向けてもっと情報発信してもよいのではないか。久留米餅から何から宝物はたくさんある。それをつなぐのが文化。その絆が少し途切れているのではないか。

## (3) 国の文化芸術政策の動向について

- 事務局より資料5に基づき、国の文化芸術政策の動向について説明。

## 5 その他

- 次回の審議会開催に係る日程調整について連絡

## 6 閉会

### ○ 木藤会長

- ・ 閉会の挨拶

以上